

OSAKA
DENTAL
UNIVERSITY



大阪歯科大学広報

NEWS

No.

134

2004. June

ODU NEWS

大阪歯科大学広報

ODU NEWS No.134
2004年6月30日

目 次

- ・平成16年度 大学・大学院入学式 ……3
 - ・平成16年度 入学式学長訓辞
学長 古跡養之真 ……3
 - ・平成16年度 入学式理事長式辞
理事長 佐川寛典 ……4
 - ・平成16年度 本学入試全日程終了 ……6
 - ・第97回歯科医師国家試験結果 ……6
 - ・平成16年 春の叙勲・褒章受章者 ……7
 - ・佐川理事長日本私立大学協会理事に就任…7
 - ・監事監査について ……7
 - ・^敬筒井正弘名誉教授ならびに
^敬新田 明名誉教授に叙位伝達 ……8
 - ・平成16年度 解剖体慰霊祭 ……8
 - ・寄 贈 ……9
 - ・平成15年度 決算報告 ……9
- <トピックス>
- ・大阪大学と「特別研究大学院学生交流に
関する協定書」締結 ……12
 - ・コロンビア大学と学術交流協定締結へ ……12
 - ・大歯 vs 九歯 ラグビー定期戦
50周年記念試合開催 ……13
 - ・人 事 ……14
 - ・雑 報 ……20
 - ・あとがき ……20



平成16年度 大学・大学院入学式（平成16年4月5日）

ODU NEWS No.134

平成16年度 大学・大学院入学式

平成16年4月5日(月)午前10時より、平成16年度大阪歯科大学ならびに大学院入学式が挙行された。

式典は開会の辞で始まり、国歌斉唱の後、大学128名ならびに大学院27名の入学許可が宣され、古跡学長の訓辞、佐川理事長の式辞と続き、無事滞りなく終了した。入学式終了後、引き続き父兄会ならびに共済会が開催された。

平成16年度 入学式学長訓辞

学長 古跡養之眞

平成16年度大阪歯科大学、大学ならびに大学院の入学式を挙行するにあたり、枚方市長中司 宏様、本学同窓会長村上 勝先生はじめ多数のご来賓、ご父兄、ご家族の皆様のご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

また、念願を達成され、今日、本学への入学を許された128名の新入生の諸君には、心からのお祝いと教職員一同を代表して歓迎の辞を述べさせていただきます。

さて、申すまでもありませんが、本学は一般の大学と異なり、歯科医師を養成する大学であります。当然、患者さんの望んでおられる歯科医師でなければなりません。そのためにも、私はつい先月、卒業生の皆様に申し上げた言葉を諸君達にも語りたいと思います。それは「医療は言葉だ」ということです。多くの人は「医療は技術だ」と考えているかも知れません。しかし、医療技術には限界がありますし、また医師一人ひとりとっても能力の壁があります。「神の手」と称賛されるほどの腕の持ち主にはそうお目に掛かることはできません。

「言葉を磨く」ことも口で言うほど簡単ではないかも知れません。しかし、文学や演劇、古典芸能もちろん寄席も結構ですが、そのような人情の機微に触れた作品に数多く接することで、言葉による気持ちの表現を身につけることができると思います。歯科医院を訪れる患者さんの悩みの多くは、「痛み」による苦痛です。と同時に食事を楽しくできないつらさや淋しさで

す。痛みを止める薬や方法はありませんがつらさや淋しさを止める薬はありません。患者さんの話をよく聞けて、病気をわかりやすく説明できる歯科医師とは自分の言葉を持つ人であることにほかなりません。患者さんと話がはずむ歯科医師になるにはむずかしい言葉を使わないことです。かみくだいて、いかにわかりやすく自分の方針を相手に伝えるかということが現代の医療では最も大切だと考えます。寿司屋の親父と医者とは頑固で無口がいいという時代は終わりました。今日、頻発している医事紛争の大部分は言葉足らずからなのです。

あなた達にとって幸か不幸か、4月9日から、お昼休みに「学長と語ろう」という企画が4回に分けて始まります。諸君達それぞれのこれから6年間の学生生活での抱負や自分自身のセールスポイントを私と語り合うのです。明日といわず今日から「簡潔に、そして的確に」自分を表現する言葉を考えておいて下さい。楽しみにしています。

その人の言葉には、その人がこれまで培ってきた教養や知恵が現れるということをお忘れ下さい。もう一度言わせていただきます。「医療は言葉」なのであります。幸い諸君達には時間は一杯あります。言葉を磨くことを怠らないで下さい。挨拶や返事ができないのはそれ以前の問題です。

ところで、本年の新入生諸君はいい年まわりに恵まれていると思います。本学を卒業し、義務化された卒業後の臨床研修を修了する頃には大阪歯科大学創立100周年の記念行事が行われると思います。大阪歯科大学100年の歴史が育んだスーパーデンティストの誕生が期待されます。諸君達の成長を大いに楽しみにしています。

引き続き、平成16年度大学院博士課程に入学された27名の方々に、一言述べさせていただきます。

21世紀に入り、知識が社会の原動力となったと言われています。我が国においても第2次大戦後から最近に至るまで、ひたすら経済の復興に総力を注ぎ込み「経済立国」を目指して参りました。そして、一応の目標は達成したのではありますが、その限界や弱点も明らかとなって参りました。

そこで最近、声を大にして提唱されてきたのが「知力立国」であります。ノーベル賞受賞者でもある江崎

玲於奈芝浦工大学長は知識を目的に応じて四つに分類されています。フロンティア活動のための知識(知識Ⅰ), 社会基盤のための知識(知識Ⅱ), 人間のための知識(知識Ⅲ), 人類生存のための知識(知識Ⅳ)と述べておられます。そして、我が国ではとかく社会科学, 工学などの「知識Ⅱ」を重視する傾向が強いのでありますが, 「知の世紀」には, バイオメディカル分野の急速な発展も含め, 医歯薬学, 文学, 演劇, 芸術, スポーツ・健康科学などの属する「知識Ⅲ」が中核的役割にあり, 政策や教育もこの分野に応じたシフトが望まれると記されています。

私も「知力立国」に貢献するためには大学院の充実が不可欠だと考えます。我が国の大学院は欧米と異なり, 大学の延長線上に位置する付け足し的な教育機関だとも言われています。本学でも例外ではありませんが, 学部教育と大学院教育の境界線があいまいで, ほとんど親子のような関係で結ばれていて甘えが生じていることを, ノーベル化学賞を受賞された野依教授は指摘されています。

大学院生の諸君は, これから大いに他の大学院に足を運んで下さい。まもなく大阪大学の大学院と本学の大学院との相互乗入れの協定書が成立します。米国のコロンビア大学とも時間の問題です。年頭の所感でも申し上げましたが, 私はこの楠葉学舎のキャンパスを国や人種の異なる研究者や大学院生が往来し, 競争心を燃やし, 互い切磋琢磨する日が到来することを夢見ています。

さる3月28日には国主導の大学評価システムに「待った」をかける「大学評価学会」が京都市で設立されました。大学に対する評価を「大学評価学」という学問として位置付け, 学者や学生, 市民の目線で研究しようという集りです。

大学が「象牙の塔」と呼ばれ, 世間とは隔絶された時代は終わりを告げました。単に100年の歳月だけを費やした大学というだけでなく, 名実ともに国際的競争力を備えた大学・大学院に脱皮して欲しいと願います。

本日は素晴らしい晴天に恵まれました。大阪歯科大学ならびに新入生諸君の前途がこのような光に溢れていることを祈念して訓辞といたします。

平成16年度 入学式理事長式辞

理事長 佐川 寛典

例年より一週間ほど早く「桜花爛漫」の時期が過ぎた2004年の春となりましたが, ご来賓の皆様や関係各位のご臨席を賜り, ここに平成16年度の大学ならびに大学院入学式を挙行し, 27名の大学院博士課程入学者と学部入学者の128名の方々が大阪歯科大学に入学されましたことをお慶び申し上げ, あらためて, 本学教職員を代表し, ご家族の皆様に, 心からお祝い申し上げます。

さて, 平成16年度の入学式を迎えるにあたり, 大阪歯科大学に入学された諸君に申し上げたいことは, 生命の尊厳を知り, 地球に住む生きとし生けるものと, 共に生き, 生き甲斐を与え, さらに, 生きている自覚と感動を与えるプロフェッショナルになることを心に誓い, 明確な目的目標意識を持つべきでありましょう。

そして, 大阪歯科大学におけるスチューデント・ライフを通じて, 生涯離れることのない真の友人を持つことです。

さらに, 国際社会において貢献でき, 高度先端歯科医療技術を身に付けた優秀な感性ある逞しい日本人歯科医師としての要請に応えることが極めて重要である。

21世紀の教育は, 知識を一方向的に教えこむ教育ではなく, 自ら学び, 自ら考える力と, 豊かな人間性をはぐくむ教育であり, 従来の教育が平等性を重視するあまり, 一人一人の個性や能力の伸長という点で必ずしも十分でなかったことは認めざるを得ない。

現在, 教育改革や, 大学を取り巻く状況は非常に厳しいものがあるが, とくに, 本年4月1日から国立大学は国立大学法人として新しく発足し, 国立大学にとっては苦難の年のスタートである。

一方, 如何なる時代においても変わることのなかった私立大学は, 歴史と伝統の支えがあり, 優位に立つ事となり, そして, 常に「建学の精神」を教育の根幹とし, 一人一人の能力を尊重しながら基本的人権を守り, あらゆる差別をなくし, 日本の高等教育の75%を担い, 教育・研究を通じて, 個性輝く大学になるように努めてきたのであります。

さて, 私たちの地球には真の平和がいつ訪れるのでしょうか。争いごととは避け, 自然を愛し, 生命あるも

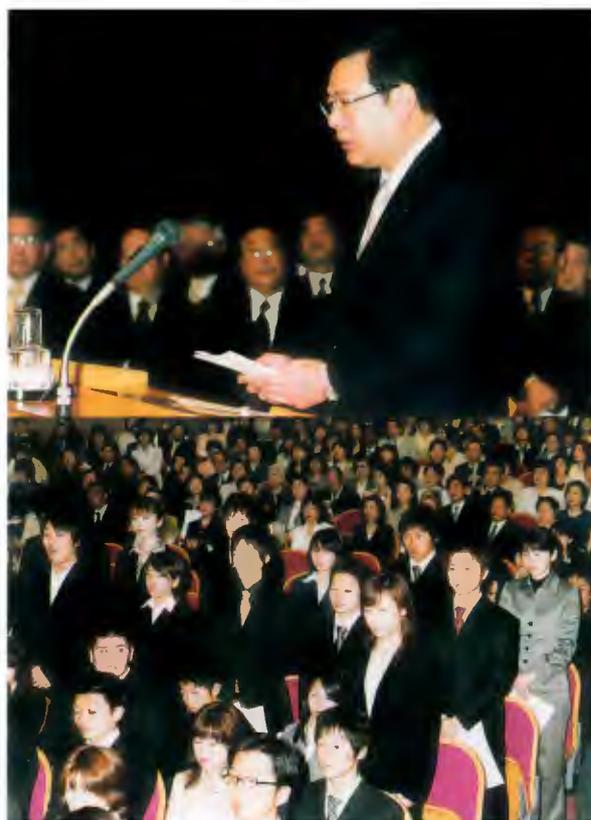
ODU NEWS No.134

のを愛することは出来ないのだろうか。やる気があり、忍耐強い人が一人でも多く現れんことを願ってやみません。

大阪歯科大学はそんな人たちを心から望んでいます。

最後になりましたが、大阪歯科大学には、平成13年の大阪歯科大学創立90周年の記念事業として、掘削いたしました温泉が見事に的中、泉温47.6度の良質な療養温泉の噴出に成功し、年中使用できる25メートルのプールのついた「ODUウエルネス・ホール」が誕生いたしました。これは大阪歯科大学にとって天の恵みともいべき、大きな財産であり、学生の課外活動、学内での学生、教職員の福利厚生施設としての利用はもとより、介護ヘルパーの実習や学生のボランティア活動など、必ずやってくる超高齢化社会での老人医療や地域住民の福祉健康に、大阪歯科大学の名において現在もすでに、大きな貢献をしています。

本日、ここに、入学式を挙げるにあたり、所感の一端を述べ、教職員、在学生一同と共に、大阪歯科大学のアイデンティティの創造と確立を目指し、あわせて、私の生命をかけて大阪歯科大学をお守りすることをお誓い申し上げ、ご来臨の一人お一人のご健康とご多幸をお祈りし、理事長の式辞といたします。



中司枚方市長の祝辞(上)と会場の様子(下)



入学生を代表して宣誓する松尾悠里さん

平成16年度 本学入試全日程終了

本学の設置する大学、大学院、専修学校の平成16年度の入学試験状況は、下記に示す表の通りである。

平成16年度の入学者は、大学においては128名(推薦28名、一般100名)であり、大学院は27名であった。また、歯科技工士専門学校は56名、同専攻科は14名であり、歯科衛生士専門学校は48名、同専攻科は12名であった。

平成16年度入学試験結果

学校別	入試区分	志願者	受験者	定員又は 募集人員	合格者	最終 入学者
大学	推薦	48	47	28	28	128
	一般	391	363	100	100	
大学院	一次	26	26	25	22	27
	二次	5	5	8	5	
歯科技工士専門学校 同 専攻科	推薦と一般	66	64	90	62	56
		16	16	40	16	14
歯科衛生士専門学校 同 専攻科	推薦と一般	89	86	40	53	48
		12	12	20	12	12
合計		653	619	351	298	285

第97回 歯科医師国家試験結果

先般実施された、第97回歯科医師国家試験の合格発表表があり、その結果は次の通りであった。

- ・試験日：平成16年3月17日(水)・18日(木)
- ・試験場：関西大学天六学舎(大阪市)
- ・合格発表：平成16年4月20日(火)

第97回歯科医師国家試験結果

	受験者数	合格者数	不合格者数	合格率
新卒	120	78	42	65.0%
既卒	23	3	20	13.0%
合計	143	81	62	56.6%
全国	2,960	2,197	763	74.2%

今回は、きびしい採点方法がとられ、全体の合格率が74.2%と低く抑えられ、その影響もあり本学は下位に甘んじている。今後さらに国家試験の基準がきびしくなると予想され、早急な対応が必要とされている。

第97回歯科医師国家試験大学別合格率

学校名	受験者数	合格者数	合格率
国公立大学(計)			
北海道大学歯学部	67	61	91.0%
東北大学歯学部	60	54	90.0%
東京医科歯科大学歯学部	81	76	93.8%
新潟大学歯学部	56	50	89.3%
大阪大学歯学部	67	55	82.1%
岡山大学歯学部	52	47	90.4%
広島大学歯学部	54	49	90.7%
徳島大学歯学部	58	51	87.9%
九州大学歯学部	68	62	91.2%
長崎大学歯学部	64	52	81.3%
鹿児島大学歯学部	48	33	68.8%
九州歯科大学	92	76	82.6%
私立大学(計)			
北海道医療大学歯学部	97	76	78.4%
岩手医科大学歯学部	85	49	57.6%
奥羽大学歯学部	122	80	65.6%
明海大学歯学部	122	96	78.7%
日本大学松戸歯学部	141	117	83.0%
東京歯科大学	136	121	89.0%
日本歯科大学	142	95	66.9%
日本大学歯学部	140	112	80.0%
昭和大学歯学部	116	97	83.6%
鶴見大学歯学部	157	88	56.1%
神奈川歯科大学	141	79	56.0%
日本歯科大学新潟歯学部	110	61	55.5%
松本歯科大学	147	59	40.1%
愛知学院大学歯学部	139	121	87.1%
朝日大学歯学部	142	103	72.5%
大阪歯科大学	143	81	56.6%
福岡歯科大学	108	94	87.0%
その他(計)	5	2	40.0%
総合(計)	2,960	2,197	74.2%

大学別の合格率は別表の通りである。昨年より17.2ポイントも合格率が下がったこともあり、各校ともに合格率はダウンしている。必修問題30問のうち6問が設問の不備により採点対象から除外され、結果として合否基準を修正することなく、24問中20問以上の正解を合格基準としたことが影響していると思われる。

ここ数年の合格率を調べると、私学では福岡歯科大学、東京歯科大学、日本大学歯学部、日本大学松戸歯学部、愛知学院大学歯学部、北海道医療大学歯学部の各校が平均を上回る、優れた成績を残している。歴史と伝統を誇る本学の学生、教職員ともになお一層の奮起が望まれる。

ODU NEWS No.134

平成16年 春の叙勲・褒章受章者

平成16年春の叙勲・褒章者として大阪歯科大学関係の先生方が、以下の通り受章されました。

叙 勲

専門 30 回	麻生 博信	熊本県	瑞宝双光章
専門 31 回	黒田 雅行	青森県	瑞宝双光章
専門 31 回	山本 始郎	京都府	瑞宝双光章
専門 32 回	中塚 裕	兵庫県	旭日双光章

褒 章

専門 32 回	木村慎一郎	大阪府	藍綬褒章
大学 12 回	森本 清治	奈良県	藍綬褒章

佐川理事長 日本私立大学協会理事に就任

佐川理事長が平成16年4月1日付けで、日本私立大学協会「理事」に就任した。同協会が、去る3月29日に行った役員改選により選出されたもので、任期は4年間。

また、4月9日に開催された本学同窓会会長改選においても、佐川理事長が同窓会長に選出された。

監事監査について

去る、平成16年5月6日(木)、5月7日(金)の両日に亘り、佐川理事長、田治米理事、田中法人事務部長の立会いのもとで実施した。

会計年度は平成15年度で平成15年4月1日～平成16年3月31日である。学校法人会計基準に準拠し、法人の財産状況の監査で範囲は「一般会計に関するもの」「業務内容に関するもの」等で各課における予算執行状況、業務内容や処理状況、各部署の課題や希望事項等について現状を聴取した。

会計決算にあたり学校法人会計基準に準拠し、予算の執行状況、予備費の支出状況および徴収不能金、諸帳簿、諸帳票の保管状況、各課における決算書等会計

業務を中心とし、さらに平成15年度仮決算書に基づき資金収支、財産状況等の監査を行った結果、予算の執行、諸資金および積立金等の運用は適正に行われていた。

業務監査については、前年度要望の処理状況、各課における業務の事務分担の状況、教職員の勤務状況(出退勤・時間外勤務・年休消化状況等)、施設・設備・構築物等の保管保全、附属病院の薬品・材料等の在庫の状況、カルテの記載内容、学内LANにおける接続端末の状況、コンピューターウイルス等の現況報告も受け監査を行った。

各課においては、予算の執行にあたり業者、関係会社との契約において契約形態の変更や契約時点での適正価額の再確認等による値下げ交渉により経費節減に努めており、平成15年度はとりわけ『電力料金』『電話料金』『情報機器購入』等において当該課の努力により経費削減が実現した。今後も引き続き適正な事務処理のもと更なる効率化を要請する。

学生生徒等納付金による収入は毎年ほぼ一定で限度に達しており、私立大学経常費補助金一般補助等の交付状況も年々厳しく抑制され、多くを期待できる財政状況ではない。一方、科学研究費等研究に対する各種補助金の獲得は今後ますます必要とされ、経費の軽減に資するとともに学外に高い教育研究内容と意欲を示すこととなり、大学の社会的な評価も高めるもので経営の健全化にも寄与する。また、附属病院の医療収入は重要な事業収入である。教職員が勤務時間を守ることは職場の秩序を保持する上で極めて重要であり、医療収入の確保に大きく影響する。勤務実態において遅刻等について多少改善はみられるが、大学に勤務し診療に携わっているという自覚を持ち目標達成に向け努力することが肝要である。

平成15年度の法人理事会は11回開催され、佐川理事長を中心として、理事者、教職員の協力を得て、いささかの支障もなく法人の運営を全うした。各理事は理事会に出席し、慎重かつ、活発果敢に議案の審議にあたり、財務・総務・教学・人事・調査の各担当理事は、それぞれ連携をとり積極的に法人の運営に貢献した。法人評議員会については、平成15年度は3回開催され、収支予算ならびに決算その他重要な議題の審議にあたった。

以上、佐川理事長への監査報告の概要である。

ODU NEWS No.134

寄 贈

平成16年3月から5月にかけて、下記の寄贈を受けました。寄贈いただいた個人、団体各位には心より感謝いたします。

- ・大阪歯科大学第52回卒業生
卒業を記念として 平成16年3月30日寄贈
図書館へ学生用オープン端末 8台 1,000,000円也
- ・玉置敏夫客員教授 平成16年4月15日寄贈
口腔インプラントの研究に対して 2,000,000円也
- ・大阪歯科大学第12回卒業生（十二支会）
卒業40周年を記念して 平成16年5月29日寄贈
学術研究奨励基金として 300,000円也

平成15年度 決算報告

学校法人は、学校法人会計基準第4条の定めるところにより、学校法人会計基準の原則に従い計算書類を作成しなければなりません。

作成する計算書類は、

1. 資金収支計算書およびこれに附属する内訳表
 2. 消費収支計算書およびこれに附属する内訳表
 3. 貸借対照表およびこれに附属する明細表
- であります。

これら計算書類は、私立学校法第46条により毎会計年度終了後2ヶ月以内に、理事長において、評議員会に報告し意見を求め、組合等登記令により資産総額の変更登記を行い、計算書類とともに文部科学省に届け出ることになっています。

平成15年度本法人の主な事業は、

- ・歯科技工士専門学校外壁改修工事
 - ・附属病院西館空調設備工事
- 等であり、より良い環境のもとで教育・研究・診療活動において充実を図ってきました。

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容ならびに支払資金の収入および支出のてん末を明らかにする計算書類であり、平成15年度資金収支計算書は別表1（次頁）の通りであります。資金収支合計額は、109億9,063万7千円となり、1億9,635万1千円の減額となりました。

収入の部では、事業収入等で減少しましたが、資産



第52回卒業生から寄贈されたオープン端末（楠葉学舎・図書館）

運用収入、雑収入、寄付金収入等で増加となりました。

支出の部、人件費には私学振興・共済事業団掛金、労働保険料、私学退職金財団掛金が含まれており、退職金の減少により前年度と比べ8.5%減少しました。

教育研究経費は、教育、研究、学生指導、診療等に要する経費で、前年度より3%の減少となりました。管理経費は、法人の管理運営に要する経費が主なものです。平成15年度は歯科技工士専門学校外壁改修工事等のため前年より増加しました。

施設関係支出は、附属病院西館空調設備工事、歯科衛生士専門学校牧野学舎改修工事の内金です。設備関

係支出は、附属病院診療用チェアの更新、設備、図書費等の支出です。

資産運用支出は、減価償却引当特定資産、退職金引当特定資産への繰入額となっています。今後も、償却資産に対する減価償却引当特定資産、退職金引当特定資産、その他の特定資産の充実を図るため、経常経費の節減に努めていかねばなりません。

財務比率は、財務分析を行う上での基礎資料であり、法人の財政および経営状況を把握することによって、経営基盤の確立を計り、教育、研究、診療活動に取り組むことが必要であります。(別表2=次頁)

(別表1)

資金収支計算書			
収入の部		(単位：千円)	
科目	平成15年度	平成14年度	増減
学生生徒等納付金収入	5,471,830	5,495,120	△ 23,290
手数料収入	49,494	42,533	6,961
寄付金収入	32,600	31,076	1,524
補助金収入	436,544	518,135	△ 81,591
資産運用収入	277,839	263,097	14,742
資産売却収入	2,923	0	2,923
事業収入	2,013,569	1,982,901	30,668
雑収入	83,740	321,316	△ 237,576
前受金収入	1,293,760	1,324,960	△ 31,200
その他の収入	1,032,024	1,587,842	△ 555,818
資金収入調整勘定	△ 1,626,791	△ 1,866,346	239,555
前年度繰越支払資金	1,923,105	1,953,933	△ 30,828
収入の部合計	10,990,637	11,654,567	△ 663,930

支出の部			
		(単位：千円)	
科目	平成15年度	平成14年度	増減
人件費支出	5,261,761	5,689,598	△ 427,837
教育研究経費支出	1,784,603	1,836,133	△ 51,530
管理経費支出	812,041	795,232	16,809
施設関係支出	124,929	64,821	60,108
設備関係支出	219,941	235,750	△ 15,809
資産運用支出	477,504	1,062,596	△ 585,092
その他の支出	570,049	409,566	160,483
資金支出調整勘定	△ 338,040	△ 362,234	24,194
次年度繰越支払資金	2,077,849	1,923,105	154,744
支出の部合計	10,990,637	11,654,567	△ 663,930

ODU NEWS No.134

(別表2)

財務比率						
比率	算式(×100)	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	% 69.4	% 60.5	% 71.5	% 65.8	% 63.1
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	115.2	101.0	116.3	104.0	96.7
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	60.3	59.9	64.5	63.3	65.2
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	46.5	42.7	42.6	30.9	36.2
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.1	9.6	11.9	10.1	11.4
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	131.4	121.0	137.9	109.2	113.9
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	4.1	6.8	8.6	2.0	2.7



お知らせ

国際電話の新しいダイヤル方法について



学内から発信する国際電話・国際FAXのダイヤル方法が変わりましたので、お知らせいたします。

★本学の固定電話からかける場合

010-国番号-市外局番-相手先の電話番号

★携帯電話・PHSおよび公衆電話からかける場合

001-010-国番号-市外局番-相手先の電話番号

(KDDIの場合)

大阪大学大学院医学系研究科と
「特別研究大学院学生交流に関する協定書」
締結

先般、大阪大学大学院医学系研究科と本学大学院歯学研究科との間で、相互の交流と協力を推進し、教育研究の充実を図るため、両校の大学院学生が相互に必要な研究指導を受けるための「特別研究大学院学生交流に関する協定書」が調印された。

この協定書は、大阪大学大学院医学系研究科の山西弘一研究科長と本学の古跡学長の間で締結され、平成16年5月1日から5年の有効期限を定めて発効する。協定書の内容は、双方の研究科に在学する大学院学生が相手研究科における研究指導を「特別研究(大学院)学生」として受けることを認めるものである。また、特別研究学生としての授業料は徴収しないこと、必要な設備利用の便宜を供与することを定めている。ただし、単位互換は認められない。

コロンビア大学と学術交流協定締結へ
本学理事会で決定

先般開催された理事会において、本学とニューヨーク市にあるコロンビア大学との間で学術交流協定を締結することが決定された。

昨年12月25日には「仮協定書」が締結されており、近日中にはコロンビア大学と正式に学術交流協定書が調印される予定である。

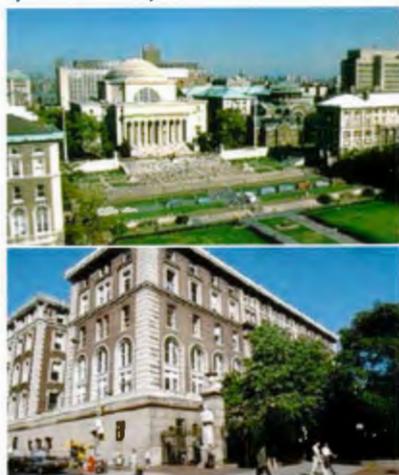
協定書の内容は、双方の大学の教員および卒業生を対象としており、教員の「ジョイントリサーチプロジェクト(1年以内)」と卒業生の「ポストドクター専攻プログラム」「短期専門学習コース」の3つの教育研究活動を柱としている。

コロンビア大学は、留学生に対する受け入れ体制が整備されており、また専門課程に入るための語学教育も充実している。歯学部では、留学生のために「継続教育コース」と「国際交流プログラム」が用意されている。

【コロンビア大学】

(Columbia University in the City of New York)

コロンビア大学は、1754年英国国王ジョージ2世(在位1727-1760)の勅令により「キングスカレッジ」として創立された、ニューヨーク州では最初の、全米でも5番目に歴史のある大学である。



その後、独立戦争の影響で8年間活動を停止したが、1784年ニューヨーク州法によりコロンビア大学(Columbia College)に改名され、1896年に「Columbia University in the City of New York」となり今日に至っている。現在、3つの学部と13の大学院およびプロフェッショナルスクールに約21,000人の学生が学んでいる。今年は創立250周年にあたり、さまざまな記念行事が予定されている。

コロンビア大学は、東部の名門私立大学「アイビーリーグ」(ハーバード・イエール・ペンシルベニア・プリンストン・コロンビア・ブラウン・ダートマス・コーネルの8校)の一つであり、その歴史もさることながら教育・研究および文化面において優れた人材を輩出している。卒業生のノーベル賞受賞者数は、ケンブリッジ大学、ハーバード大学に次ぎ世界第3位で37名にのぼる。コロンビア大学出身の著名人としては、経済学・シカゴ学派のミルトン・フリードマン、作家のJ・Dサリンジャー、SF作家アイザック・アシモフ、俳優のアンソニー・パーキンス、サイモンとガーファングルのアート・ガーファングルなどがいる。また、日本文学の翻訳・研究および日本文化の紹介で有名なサイデンステッカーとドナルド・キーンもコロンビア大学の出身である。二人はともに大阪府主催の山片蟠桃賞を受賞している。

歯学部にあたる「School of Dental and Oral Surgery (SDOS)」は、その前身は1852年に創設され、1916年にコロンビア大学に統合されている。1928年に「メディカルセンター」が大学本部から少しはなれたところに設立され、その一角に歯学部もある。歯学教育では、当初からスペシャリストの養成を目的とした教育プログラムの必要性を認め、アメリカの歯科教育をリードしている。

大歯 vs 九歯 ラグビー定期戦
50周年記念試合開催

本学と九州歯科大学のラグビー定期戦50周年記念試合が、4月25日(日)午後1時から京都府久御山町にあるNTT西日本のグラウンドで行われた。当日は、晴天の下、50周年記念ということもあり、両校とも多数のOBも参加した。

試合に先立ちセレモニーが行われ、戸田ラグビー部長が挨拶した後、記念品の交換が行われた。大歯、九歯とも、歯科大学ではトップを争う強豪チームであり、とくに九歯はかつて歯科大学では唯一のラグビー日本代表を輩出したこともある。現役戦に先立って行われたOB戦では九歯が完勝。現役戦では、大歯が借りを返す結果となった。OB戦、現役戦とも大きなけが人を出すことなく無事終了し、戦い終えた満足感と笑顔の中でお互い



の健闘を讃えあう光景が見られた。

試合後、さらに旧交を深めるため二次会へと突進していった。

【大歯ラグビー部】

大正13年、中学時代の経験者を中心に今で言う同好会として創部。大正15年に大学から正式にクラブとして認められ、活動費も支給される。創部当初は練習グラウンドの確保にも四苦八苦の状態、また1チーム15人で行う競技のため試合の人数をそろえるのも大変な時期が何度もあり、その度に相撲部や陸上部等に助人を頼むことでしのいできた。しかし、創部以来80年間途切れることなく歴史を重ねてきている。昭和49年には創部50周年の記念式典を開催している。

現在は、春の医歯薬リーグ、秋の関西リーグ(Dリーグ)、冬の歯学体の公式戦ほか、春に九州歯科大学、秋に日本大学歯学部と毎年定期戦を行っている。歯学体では、平成7年から平成12年にかけての6連覇を含め、常に上位を占めている。

現在、牧野グラウンドで平成17年度歯学体優勝を目指し、部員一同一丸となって猛練習に励んでいる。

部長：戸田先生 監督：池永先生

主将：横田 要(5年) 部員：21名 マネージャー：8名

ラグビー部創部80周年記念式典
ラグビー部は今年、創部80周年を迎え、
記念式典の開催を予定している。

開催日：11月27日(土)

会場：リーガロイヤルホテル



OB戦ラインアウトの攻防(右・虎縞のジャージが九歯)

人 事

教員採用

薬理学講座	講師	小崎 健一
有歯補綴咬合学講座	助手	鳥井 克典
口腔外科学第二講座	助手	門田 秀隆
口腔外科学第二講座	助手	窪 寛仁
口腔外科学第二講座	助手	濱本 和彦
歯科麻酔学講座	助手	橋本佳代子
眼科	病院助手	河合 江実
	以上	H. 16. 4. 1付
口腔解剖学講座	助手	井辺 弘樹
細菌学講座	助手	住田 容子
細菌学講座	助手	山根 一芳
	以上	H. 16. 5. 1付

異動・昇任

臨床研修教育科	病院教授	成川 公一
		H. 16. 4. 1付

昇 任

臨床研修教育科	病院助教授	紺井 拡隆
		H. 16. 4. 1付

職員採用

歯科衛生士専門学校	助手	氏橋 貴子
附属病院	歯科衛生士	石原亜希子
附属病院	歯科衛生士	野田真弥子
	以上	H. 16. 4. 1付

異動・昇進

総務課	一般技術職主任	田中 修
附属病院	歯科技工士長	加地 公夫
歯科衛生士専門学校	教員	梶 貢三子
	以上	H. 16. 4. 1付

所属異動

総務課	事務職員	吉村 里美
総務課	労務職員	堀田 肇
広報課 (兼務)	一般技術職主任	田中 修
経理課	主任	稲留 誠
施設課	事務職員	藤田満里子
教務学生課	事務職員	池田 英子
大学庶務課	事務職員	山田 市子
分室図書課	課長	安藤 孝幸
歯科技工士専門学校	事務職員	鏑田 章子
	以上	H. 16. 4. 1付

出向(学内)

附属病院 薬剤科	事務職員	渡辺 恵子
		H. 16. 4. 1付

勤務地異動

教務学生課 天満橋学舎	事務職員	川田伊佐子
		H. 16. 4. 1付

大学院教員

任 用

大学院教授	諏訪 文彦, 今井 久夫
	岩井 康智, 小正 裕
	西川 泰央, 川添 堯彬
	池尾 隆, 井上 宏
	田中 昭男, 森田 章介
	福島 久典, 覚道 健治
	大浦 清, 川本 達雄
	中村 正明, 大東 道治
	神原 正樹, 小谷順一郎
	井上 正義, 堂前 尚親
	戸田 忠夫, 毛利 學
大学院助教授	竹村 明道, 田中 昌博
	塩路伊佐子, 前田 照太
	西川 哲成, 虫本 浩三
	山中 武志, 中嶋 正博
	篠原 光子, 神原 敏之
	武田 昭二, 清水谷公成
	上村 参生, 嘉藤 幹夫
	井上 昌孝, 佐久間泰司
	林 宏行, 長野 豊
	上田 雅俊, 湊川 徹
	岡崎 定司

大学院講師

大学院講師	戸田 伊紀, 更谷 啓治
	鎌田 愛子, 川野 晃
	和唐 雅博, 井関 富雄
	野崎 中成, 大西 祐一
	今井 弘一, 古跡 孝和
	三宅 達郎, 白敷 慎也
	山本 一世, 杉岡 伸悟
	畠 銀一郎, 宮前 雅見
	野口 吉廣, 毛利 大介
	柿本 和俊
大学院助手	玉田 善堂, 小野 圭昭
	田村 功, 柏木 宏介
	富永 和也, 内田 慎爾

ODU NEWS No.134

大島 浩 松本 尚之
 川崎 弘二 四井 資隆
 川本 雅行 百田 義弘
 馬場 忠彦 澤井 宏文
 以上 H. 16. 4. 1付

委 嘱
 客員教授 玉置 敏夫, 熊崎 護
 岡本 道雄, 森井 浩世
 西村 善彦, 山下 敦
 宇山 昌延, 二階 宏昌
 森井 外吉, 末瀬 一彦
 森 昌彦, 矢尾 和彦
 以上 H. 16. 4. 1付

Honorary Visiting Professor 周 学 東
 兪 光 岩
 以上 H. 16. 4. 1付

Visiting Professor 金 岩
 C Hitta Ranjan Choudhury
 Franklin Scott Weine
 李 相喆
 Harry L. Dougherty
 朴 榮 國
 David R. Avery
 以上 H. 16. 4. 1付

Visiting Professor 申 濟元
 H. 16. 5. 1付

嘱託 カウンセラー 精神科医 森 悦子
 嘱託 臨床心理士 畑 聡美
 嘱託 歯科医師 近森 信人
 嘱託 医師 池田 耕士, 奥田 隆彦
 梅垣 裕, 永井 由巳
 以上 H. 16. 4. 1付

組換えDNA実験安全委員会委員長 福島 久典
 組換えDNA実験安全委員会委員
 田中 昭男, 樫 則章
 堂前 尚親, 和唐 雅博
 神原 正樹, 上田 実
 川合進二郎
 以上 H. 16. 4. 1付

ユニット責任者
 「4-1-1全身疾患(1)」 田中 昭男
 「4-1-1全身疾患(2)」 堂前 尚親
 「4-1-1全身疾患(3)」 新居 正甫

「4-1-1全身疾患(4)」 植野 正也
 「4-2-1健康管理(健康増進と予防)・保健医療」
 神原 正樹
 「4-2-2統計・医療統計」 小林 義彦
 「4-2-3疫学・環境」 神原 正樹
 「4-2-4医の原則」 樫 則章
 「4-2-5医事法制」 稲葉 一人
 「4-3-1口腔疾患の主要症状と徴候・診察」
 北條 博一
 「4-3-2臨床検査・画像検査、診断」 清水谷公成
 「4-3-3小児・高齢者・心身障害者・心因性
 疾患の診かた」 大東 道治
 「4-4-1歯・歯髄・根尖部周囲組織の疾患
 (1)歯の硬組織の疾患」 井上 正義
 「4-4-1歯・歯髄・根尖部周囲組織の疾患
 (2)歯髄・根尖周囲組織の疾患」 戸田 忠夫
 「4-4-2歯周疾患」 今井 久夫
 「4-4-3顎・口腔の疾患(1)口病」 田中 昭男
 「4-4-4顎機能・咀嚼障害(1) I 顎機能障害」
 川添 堯彬
 「4-4-4顎機能・咀嚼障害(4) II 欠損による
 咀嚼障害(材料)」 中村 正明
 「4-4-4顎機能・咀嚼障害(5) III 不正咬合」
 川本 達雄
 「4-4-5(1)小児・心身障害者の口腔疾患」
 大東 道治
 「4-4-5(2)高齢者の口腔疾患」 小正 裕
 「4-5-2基本的臨床検査・診断および
 画像検査・画像診断(1)」 田中 昭男
 「4-5-3基本的治療の実施・介助および歯の切削」
 井上 正義
 「4-6-1歯・歯髄・根尖部周囲組織の疾患の
 患者(1)保存」 井上 正義
 「4-6-1歯・歯髄・根尖部周囲組織の疾患の
 患者(2)口治」 戸田 忠夫
 「4-6-2歯周疾患の患者」 今井 久夫
 「4-7-1顎・口腔の疾患の患者(1)」 森田 章介
 「4-8-1顎機能・咀嚼障害の患者(4)理工」
 中村 正明
 「4-9-1小児の口腔疾患の患者」 大東 道治
 「6-2-1中級会話・リスニング」 藤田 淳一
 「6-2-2上級会話・リスニング」Lachlan R Jackson
 「6-2-3英語読解(1)(2)」 佐ノ木幸夫

ODU NEWS No.134

「7-5-1歯科基礎英語」 魚部 健市
「7-6-1総合教養」 三瀬 顕
「7-6-2メディア論」 羽田 潤
「7-6-3源氏絵を読む」 井上 新子
「7-6-4哲学」 樫 則章
「7-6-5歯科と東洋医学」 方 一如
「7-7-1ゲノム生物学と細胞工学」 川合進二郎
「7-7-2医薬品に関する化学(薬品化学)」

二川 修治

以上 H. 16. 4. 1付

ブラッシュアップ委員会顧問

古跡養之真, 川本 達雄

ブラッシュアップ委員会委員長 小正 裕

ブラッシュアップ委員会委員

竹村 明道, 高津 兆雄

隈部 俊二, 柿本 和俊

内橋 賢二, 更谷 啓治

田村 功, 前田 照太

富永 和也, 篠田 豊

山中 武志, 中嶋 正博

篠原 光子, 神原 敏之

今井 弘一, 清水谷公成

上村 参生, 嘉藤 幹夫

川本 雅行, 佐久間泰司

馬場 忠彦, 米谷 裕之

以上 H. 16. 4. 1付

共用試験歯学C B T委員会委員長 西川 泰央

共用試験歯学C B T委員会委員

山中 武志, 高井 規安

篠原 光子, 池尾 隆

今井 弘一, 和唐 雅博

上村 参生, 更谷 啓治

川本 雅行, 吉峰 茂樹

林 宏行, 篠田 豊

稲田 芳樹, 角熊 雅彦

小野 圭昭, 松本 尚之

樫 則章, 板垣 恵輔

豊田 紘一, 嘉藤 幹夫

戸田 伊紀, 杉岡 伸悟

岩井 康智

以上 H. 16. 5. 1付

第一学年 学年指導教授

諏訪 文彦

助言教員 鎌田 愛子, 柘植 昌保

二川 修治, 戸田 伊紀

中塚美智子, 長家 秀博

第二学年 学年指導教授

豊田 紘一

助言教員 小林 義彦, 隈部 俊二

塩路伊佐子, 岡村 英幸

樫 則章, 野崎 中成

第三学年 学年指導教授

福島 久典

助言教員 竹村 明道, 内橋 賢二

魚部 健市, 武田 昭二

一居 真代, 川崎 弘二

第四学年 学年指導教授

神原 正樹

助言教員 今井 弘一, 篠原 光子

上村 参生, 高井 規安

山中 武志, 和唐 雅博

第五学年 学年指導教授

井上 正義

助言教員 原 直仁, 佐久間泰司

井上 昌孝, 川嶋 信子

林 宏行, 清水谷公成

第六学年 学年指導教授

小谷順一郎

助言教員 民上 良徳, 田中 昌博

井関 富雄, 兼平 治和

岡崎 定司, 堀井 活子

以上 H. 16. 4. 1付

学友会会長

諏訪 文彦

H. 16. 4. 1付

講師(非常勤)委嘱

解剖学講座

古原 英男, 江原 雄二

新井 正朗, 武田 憲明

清水 孝治, 大塚 拓三

蔵前 勝彦, 中道 哲

疋田 芳寛, 北村清一郎

島田 純治, 牧草 一人

三井 博晶, 三宅 晴記

中村 雅彦, 藤原 成樹

湯 兆舜, 松川 信夫

阮 栄泰

口腔解剖学講座

藤井 征, 中西 透

小林 徹, 荻田 雄紀

長楽 謙輔, 飯島 恵一

阪本 義之, 下岡 史男

鄭 在泳, 山本 洋幸

ODU NEWS No.134

	橋爪 年世, 松田 哲一 菊池 史郎, 小島 寿雄 李 炳漢, 椿井 孝芳 多田 逸					
生理学講座	新谷 衛, 小山 なつ 山本 修治, 吉村 佳博 岸 文隆, 岩崎 精彦 芳本 忍, 宮尾 治樹 榎村 光仁, 村上 浩孝 長谷川彰則, 岩住 征紀 杉村 忠敬, 樋口 恭子 大野 榮, 森 明彦 陣内皓之祐		齒科理工学講座	九門 好彦, 狹川 正 前原 潔, 林 昭典 井上 博明, 野阪ひとみ 小室 智, 五老海輝一 石崎 順啓, 片岡 喜平 西田 堯吉, 三浦 康伸 今西 嘉次, 森口 泰成 川原 大		
生化学講座	涌本 昇, 奥田 裕司 梁川 国昭, 伊東 禎雄 高屋 毅史, 有山金一郎 畑下 芳史, 倉阪 雅巳 長澤 成明, 前田 純典 阿部 公生, 中川 雅夫 藤田 厚, 高石 佳知 住谷 道夫, 芦田 欣一 岡下 守正, 松井 正剛 高木 幹正, 東浦 宏守 善 睦彦, 新谷 牧 奥野 夏樹, 下村謙一郎 前田満里子, 武田 良一 岡村 敬次, 河原 康二 川口 佳夫, 山根木康嗣 和田 聖二, 佐久間 勲		口腔衛生学講座	脇 勉, 熊崎 眞義 櫻井 宏守, 奥 忠之 森 孝, 森野与史緒 野村 一夫, 村田 省三 尾辻 淳, 井上 富夫 今井 意晴, 小林 正憲 藤井 由希, 土居 貴士 白石 雅照, 岡村 伸江 熨斗 秀光, 福地 健秀 中川 哲也, 奥村 信		
口腔病理学講座	藤田 厚, 高石 佳知 住谷 道夫, 芦田 欣一 岡下 守正, 松井 正剛 高木 幹正, 東浦 宏守 善 睦彦, 新谷 牧 奥野 夏樹, 下村謙一郎 前田満里子, 武田 良一 岡村 敬次, 河原 康二 川口 佳夫, 山根木康嗣 和田 聖二, 佐久間 勲		齒科保存学講座	清水 建彦, 福島 重紀 河見 忠雄, 黒瀬 信隆 川人 照美, 藤田 昌弘 谷 哲, 岩田 有弘 河村 昌哲, 三木 秀治 岩田 明, 福井 敬和 添田 廣, 小山内 惺 金田 順三, 山本 哲也 小池 恭弘		
細菌学講座	宮野 哲, 藤田 康一 井上 純一, 水野 周二 小川 歆, 山本 範子 村松 洋司, 吉竹 弘行 伊藤 康夫, 和手 甚京 谷 明, 松野 吉晃 徳永 恵子, 亀井 眞紀 西川 文男		口腔治療学講座	堀 亘孝, 細見 環 松田 毅, 寺田 行男 藤田 智, 金村 成智 塩見 聰, 河津 正文 奥野 一吉, 竹村 正仁 伊地智弘昌, 保 文夫 速水 茂, 山田 健蔵 巖 恭輔, 薄 孝 上村 学, 逸見 浩史 横山 邦生, 永石 真幸 林 正純, 畠山 善行 柳原 一晃, 松田 正文 南林 繁良, 實重 英仁 中垣 直毅, 菅 人志 本城 範典, 神田 浩 西川 義公, 岡西 裕公		
薬理学講座	石川 協, 吉岡 三四 大草 修, 宮田 敏生 武内信二郎, 坂本 伸人 森川 裕, 河野 元一 岡本 卓士, 村川 昇 高山 昭則, 田地 陽一		齒周病学講座			

高齡者歯科学講座 大西 和久, 釜谷 晋平
 寺西 義浩, 畑 裕紀子
 土居 敏三, 村岡 正規
 亀水 忠茂, 竹腰 惠治
 額田 和門, 田中 栄士
 蘆田 貴司, 岡田 隆夫
 北山 展弘, 浅井 加雄
 松尾 光至, 大槻 栄人
 田中 球生, 村田 好範
 上田 章浩, 藤岡宗之輔
 氷見 彰敏, 内貴 寛敬
 井上 愛

有歯補綴咬合学講座 藤野 明, 長砂 孝
 鶴身 敬三, 徳永 徹
 辻 功, 鍋島 竜將
 松島 諒, 仲西 健樹
 太田 邦雄, 前野 郁尚
 佐川 寛一, 田中 誠也
 河野 亘, 瀧川 博嗣
 水井 雅則, 今井 敦子
 馬場 俊輔, 上田 直克
 柳田 昌宏

欠損歯列補綴咬合学講座 泉谷祐紀員, 恩地 良幸
 加藤 博, 上り口寛武
 加藤 信次, 池田 直也
 吉田 和也, 西川 敏文
 三谷 徹, 竜門 宏
 吉峰美千代, 吉川 洋史
 奥田 啓之, 岡田 正傳
 原 雄大, 奥田 昌義
 藤原 到, 犬伏 義臣

口腔外科学第一講座 連 利隆, 酒匂 潤
 森本 忠三, 前田 健生
 梶 隆一, 丹羽 慎弥
 島 盛隆, 堀内 薫
 大石 建三, 小淵 匡清
 大杉 泰敏, 青柳 信好
 栗林 信仁, 北郷 明成
 古田 治彦, 植野 茂
 佐々木 昇, 浦 栄吾
 多々見敏章, 井上 明洋

口腔外科学第二講座 稲葉 修, 仁木 寛
 橋本 武, 岡田 壽一

赤根 昌樹, 有家 巧
 郷 真奈武, 山内 義之
 柚木 大和, 杉立 光史
 吉澤 信夫, 岩本守市良
 林 秀一, 鹿野 学
 蠅庭 秀也, 山崎 行庸
 後藤 基宏, 岩崎 春美
 吉本 仁

歯科矯正学講座 大浦 寿哉, 金 錫俊
 犬伏 俊嗣, 関 詔夫
 金 漢俊, 壺内 建行
 姜 九漢, 岡林 聰
 高橋 啓, 長屋 和也
 寺井 裕, 西浦 亜紀
 深井 統久, 速水 勇人
 野田 真, 本田 領
 大塚 重雄, 蓮舎 寛樹
 飯田 拓二

歯科放射線学講座 今井 一彦, 木原 卓司
 内海 潔, 川植 康史
 江原 昌弘, 室井 誠
 田中 義弘, 松本 義之
 山崎 章, 釜田 博史

小児歯科学講座 池本 博之, 工藤俊次郎
 嘉ノ海龍三, 大道 士郎
 高松 恒美, 大東 美德
 中村 弘之, 濱田吉之輔
 人見 晃司, 石井 信行
 保澤 静, 佐伯 克彦
 前田 光宣, 山尾 雅朗
 三戸 應則, 大谷 敬三
 渡邊 邦一 梶本祐一郎
 濱田 義彦, 渡邊 景子

歯科麻酔学講座 豊田 芳郎, 野口 光一
 遠山 正彌, 橋川 直浩
 田口 仁士, 中村 久美
 山田 隆造, 金銅 英二
 坂尻 光春, 薬師寺 勤
 増井 雄治, 古玉 克平
 藤 喜久雄, 留守 信興
 足立 了平, 水野 誠
 河合 峰雄, 孫 弘樹

ODU NEWS No.134

内科学講座 高林 有道, 岡崎 俊朗
熊谷 俊一, 米田 修
根住 直史, 梅原 久範
濱中大三郎, 薬師寺健太郎

外科学講座 田幡 純, 谷 泰一郎
田幡 治, 窪 盛偉
服部 一秀, 鎌田 守人
森本伊智郎

一般教育科目 文学 渡辺 浩司
心理学 鈴木 まや
社会学 平 英美
英語 中村 久男
英語 Lachlan R Jackson
ドイツ語 國重 裕
フランス語 中野康次郎
中国語 相原 里美
総合教養 三瀬 顕
メディア論 羽田 潤
源氏絵を読む 井上 新子
基礎情報科学 中村 民明
基礎情報科学 中尾 泰士
統計学 平井 裕久
体育実技 松原 慶子
体育実技 馬場 裕樹
講座所属外 医事法制学 植木 哲
医事法制学 稲葉 一人
小児科学 新居 正甫
法医学 安原 正博
医療統計学 出澤 茂
外科学 植野 正也
皮膚科学 杉原 昭
兼担者 眼科学 岸本 直子
原書購読(臨床系) 虫本 和彦
原書購読(臨床系) 井上 昌孝
以上 H. 16. 4. 1付

歯科技工士専門学校講師(非常勤)
長家 秀博, 武田 恵美, 江藤 隆徳
松原 慶子, 川添 堯彬, 覚道 健治
山本 卓世, 田中 昌博, 森田 章介
佐ノ木幸夫, 更谷 啓治, 桑田 正博
藤田 淳一, 楠本 哲次, 本多 正明
上野乃武彌, 井上 宏, 和田 弘毅
川合進二郎, 前田 照太, 足立 勝

川原 春幸, 内田 慎爾, 西村 徹
中村 正明, 吳本 晃一, 大森 三生
武田 昭二, 権田 悦通, 河村 龍三
大島 浩, 小正 裕, 内木 雄一
都賀谷紀宏, 小野 圭昭, 西村 謙
諏訪 文彦, 郷上 勲, 加地 公夫
竹村 明道, 川本 達雄, 佐藤 繁男
戸田 伊紀, 北條 博一, 竹本 和司
上村 守, 松本 尚之, 永井 利明
東 義景, 大東 道治, 西村 幸雄
岩井 康智, 嘉藤 幹夫, 菊田 茂
隈部 俊二, 白敷 慎也, 小山 和美
豊田 紘一, 井上 正義, 吐山 寛
新池 孜, 廣瀬 泰明, 宮川 浩司
樫 則章, 戸田 忠夫, 斉藤 俊文
矢尾 和彦, 今井 久夫, 堀内 賢
西川 泰央, 古跡養之眞, 武森 政文
池尾 隆, 神原 正樹, 中辻 孝一
小谷順一郎, 福島 久典, 森川 幸子
方 一如, 田中 昭男

以上 H. 16. 4. 1付

歯科衛生士専門学校講師(非常勤)

樫 則章, 前原 潔, 笠原 幸子
岡島 泰三, 山崎 陽子, 佐瀬恵美子
川合進二郎, 井上 昌孝, 今西 秀明
岡村 英幸, 林 宏行, 大東 道治
寺尾 潤, 今井 久夫, 原 直仁
山本 卓世, 小正 裕, 小谷順一郎
長家 秀博, 篠田 豊, 虫本 浩三
岡本 恵, 方 一如, 江藤 隆徳
豊田 紘一, 高橋 一朗, 北村 博彦
下田 豊, 清水谷公成, 高橋 節子
渡辺 浩司, 堂前 尚親, 吉原 正彦
諏訪 文彦, 大久保 直, 木村 智美
竹村 明道, 長野 豊, 牧嶋 孝生
戸田 伊紀, 宮前 雅見, 天方 宏
玉田 善堂, 澤井 宏文, 飯尾 尚子
池 宏海, 楠 茂美, 井本 眞弓
上村 守, 福井 和枝, 下川 泰子
中塚美智子, 入江 隆子, 濱本 愛子
内橋 賢二, 中村 正明, 南部 智子
田中 昭男, 北條 博一, 福田 公教
西川 哲成, 米谷 裕之, 杉山 淳彦

山中 武志, 佐久間泰司, 岸本 直子
 大浦 清, 馬場 忠彦, 森 悦子
 篠原 光子, 畦崎 泰男, 林田 弓夫
 野崎 中成, 柿本 和俊, 金盛千代美
 神原 正樹, 嘉藤 幹夫, 竹中 正史
 上村 参生, 星野 茂, 岩橋 秀彰
 三宅 達郎, 紺井 拓隆, 張木 康代
 川崎 弘二, 小出 武, 渡部 澄江
 上根 昌子, 緒方智壽子, 西村 眞理
 池尾 隆, 宮本美千子, 中山 眞理
 鎌田 愛子, 宮地 和子, 小田見也子
 野田 寛, 藤林由利安, 西村 正喜
 古跡養之眞, 近藤ひとみ, 森田婦美子
 末瀬 一彦, 谷 康平, 小河 容子
 以上 H. 16. 4. 1付

雑 報

住所変更

宮内 仁美 附属病院 看護師
 〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見5-2-28-806
 TEL 06-6930-7955

久保田陽子 附属病院 看護師
 〒559-0016 大阪市住之江区西加賀屋1-2-56-1323
 TEL 06-6681-6273

西川 泰央 生理学講座
 〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度2-2-2-1110
 TEL 0745-31-0155

～お誕生おめでとうございます～

臨床研修教育科 桐井 優子 かいしゅう 海舟さん

～お悔やみ申し上げます～

附属病院 薬剤師 石床 純子 ご母堂様逝去
 臨床研修教育科 星野 茂 ご令室様逝去
 附属病院 歯科衛生士 星野 玉紗 ご母堂様逝去
 口腔外科学第二講座 覚道 健治 ご尊父様逝去

あとがき

—余談—

コロンビア大学にまつわる話を少々。コロンビア大学は、なぜ「コロンビア」という名前になったのでしょうか。「Columbia」を辞書で引くと、「アメリカ大陸(合衆国)を意味する女性擬人名」という意味がある。つまり、アメリカ独立戦争という時代的背景のなかで、それまでの英国のキングスカレッジという前史をもつ大学にとって、アメリカを象徴する意味でこの「コロンビア」という名前が選ばれたのではないかと思われる。

次の問題。コロンビア大学は1754年に創設されていますが、男子校でした。では、いつから共学になったのでしょうか。これが、何と1983年からののです。ほんの20年前まで男子校だったのです。1889年には、バーナードカレッジという女子大を併設していましたが、コロンビア自身は男子校のままでした。こんなところにも英国流の伝統(?)が残っていたのかもしれない。

最後の問題。コロンビア大学は、アイビーリーグと呼ばれる学校群の一角ですが、この「アイビーリーグ」の由来は。一般的には、1937年に8大学によるフットボール連盟が結成されたとき、校舎に蔦(Ivy)が生い茂っていることから「アイビーリーグ」となったといわれている。他にも4大学で結成された「フォーリーグ」は「IV」と表記されるので、「I」「V」リーグとなったという説もあり、ほんとのところはわからない。

大阪歯科大学広報 第134号
 発行日 平成16年6月30日
 編集発行 広報委員会
 〒573-1121 枚方市楠葉花園町8-1
 電話 072-864-3111